

# スタッフのための フリーペーパーマガジン

For Staff Members

# まめ

# 4

Vol.13 2018

みなさんこんにちは。

4月は出会いと別れの交差する、楽しくもあり、またさみしくもある月です。様々な縁の結びつきで、私たちも新たな出会いがありました。新しく働き始めるみなさんにとってまめが繋がりを感じてもらい、働く後押しになれるように願いながら今月もまめを届けます。

文：Y

## CNからのINFORMATION

### 住民税（市・府民税）について



みなさんは住民税についてどのくらい知っていますか？わたしは今回この記事を書くにあたり少し調べた程度なのですが、ちょっと勉強になりました。

収入（H25 データより）	市・府民税	配偶者控除	配偶者特別控除
100万円以下	かからない	対象となる	対象とならない
100万円を超え 141万円以下	かかる	対象とならない	対象となる
141万円以上			対象とならない

これまで「えがく」では上記表の住民税納税対象者には、毎年6月に税務署から納付書が自宅に届き、個人で納付してもらおう仕組み（普通徴収）をとってきました。今年から、京都市の取組み（納税義務者の利便性向上や安定した税収確保のため）を受けて【毎月の給与から住民税を天引き（特別徴収）】に変わりました。ともない「えがく」でも6月20日の給与（5月労働分）から住民税を天引き（徴収）し、みなさんに代わって1年間毎月住民税を国に納付します。住民税の金額については『市民税・府民税特別徴収税額の決定通知書』が5月末までに届く予定となっています。また届き次第みなさんにお渡しいたしますのでご承知おきください。気になる点やわからないことがあれば気軽にお問い合わせ下さいね



介助をはじめたばかりのころって「ちゃんと出来るかな」「どうしたらいいんだろう？」など、研修や現場でのレクチャーを受けていても実際に働きながら直面する課題は様々で、そしてたくさんあると思います。今回はスタートラインに立つ皆さんに、介助者として本人とどう関わっていくか、技術的なことや心理的なことも含め過去の経験・体験からえたことを伝えたいと思います。少しでも皆さんの不安解消や励みになればうれしく思います。

### 待機しているとき



待機中、「何もしてないけど大丈夫かな...」「手持ち無沙汰で不安」なんて思っていないですか？私も初めの頃は、何かしなくては！と意気込んでいたのを覚えています。介助をするうえで待機の時間は、何もしていないのではなく、本人から「いつでも指示を受けて動ける準備をしている状態」でいて欲しいということを受けてのものなので「介助行為」そのものなんだと教えられました。

また本人から「待機してくれていたおかげで自分の思う過ごし方が出来た」と言われてからは、「待つ」ことが最高の仕事ぶりになることもあることを体験しましたよ。

### 相談したいとき



本人の生活の中に入り、コミュニケーションをとりながら関係性を作っていくことは上手く出来てますか？すでに何かしらの「壁」にぶつかっているのかもしれませんが。働き続けてきて、お互いのことを理解し大切にして良い関係を作っていくことはとても大切です、あたりまえのようで、結局これが全てだとも感じます。自分が感じていることを相手に届けていくことを私は「本人の生活を害するかもしれない」と遠慮してためらうことが多かったと思います。そういったコミュニケーションを避けることで、仕事をする上での土台である信頼関係が崩れていき、その事に気づきながらも放置するという悪循環ですね。しかしそれも当時の私は「自分ひとりではどうすることもできなかった」のです。

本人との関わりで分からないことは基本的には本人と解決していくことが大事ですが、それでも難しさを感じた時は遠慮なく相談して下さい。CNが当事者同士の話し合いの場の提案や設定、中立的な立場から介入して問題解決のサポートをします。

これから介助をしていく皆さんは私たちにとってかけがえのない、大切な存在です。またこの社会にとっても力強く貴重な存在でもあります。私たちの目的は目の前の人の生活を保障すること、介助をするあなたが安心して健やかに働くことのどちらも目指していくことにあります。

**Fight!**  
by Y

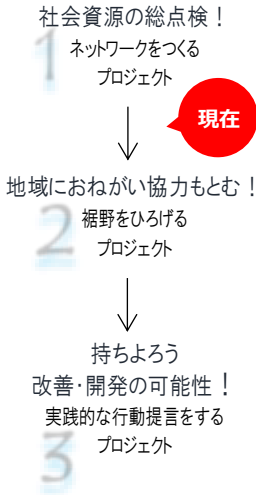
「人と人が対等にどうやって付き合っていくか」が踏み出すべき第一歩

「つくるプロジェクト」は3年計画で進められていきます。先日4月12日に第4回定例学習会が事務所にて開催されました。

介護保険における高齢福祉サービスの現状や当事者の置かれている状況などの実態を丁寧に分析しながら、プロジェクトの目指す方向性と比較し、連携するために私たちの声が「届くのか」という課題について考えていく時間となりました。

有識者・障害当事者・高齢者など様々な立場の人たちに協力を依頼、趣旨に賛同いただいて一緒にプロジェクトを進めていきます。様々な立場や考え方から飛び交う意見は興味深いものばかりでした。アルバイトの方も参加出来ま

現在



## 社会資源の改善開発を実践し 入所を選ばない地域生活をつくるプロジェクト

私たちの活動は Youtube や Facebook で発信しています。

## SNS

今回は情報番組「マイDOあり！」のMC岡本氏にインタビュー

### Q. 見所を教えてください

「マイ DO あり！」は月に1度、アクスの活動をお伝えする情報番組です。つくるプロジェクトやシンポジウムでの講演など、まさに今おこなっている私たちの活動をお届けします！シンプルな構成にしていますので移動時間や寝る前のふとした時間に是非。過去配信分もアーカイブされていますので遡って観てみると、スタッフの意外な一面が知れるかも。



<https://youtu.be/PxWd1PFEDGQ>

### Q. 番組への意気込みを

「マイ DO あり！」の配信は昨年からはスタートし、全スタッフの話し合いでタイトルや内容を決めてきました。番組の内容や構成も変遷しながら、現在の岡本が MC、マスコットキャラのケロ太のコンビでお届けしています。魅力的なコンテンツを届けられるよう、滑舌とも格闘しながら頑張っていきます。「マイ DO あり！」をよろしくお願いします！



University Lecture

# 大学講演

花園大学での授業では、アクスペでの経験を通じて障害や社会について自分の考えが変化していったことについてを話しました。一回生の方が多い授業ということで、なるだけ身近に感じてもらえるように自分が学生だったころやアクスペでの働き始めのころのエピソードなどを交えて伝えることを意識しました。前の席で積極的に聞いてくれる方もいたのが印象的で、話した手応えを感じられました。N

新学期を迎え新たに大学生となった方たちに向け、障害福祉論のひとつで『障害について概念と変容、障害のある方の環境』について話をしてきました。これから障害福祉を学びはじめるタイミングでお伝え出来たことや真剣な眼差しで聞いてくれたことに頼もしさも感じました。そして介助者募集の宣伝も自らの言葉でしっかりさせてもらったので、この先一人でも多くの方が介助の仕事を始められる事を期待しています。加古

4月18日事務局長の加古とスタッフの野間野が花園大学へ講演を行いました。



n

kawamura

生活環境や心理的にも変化の時期で不安も感じがちになりますが、焦らずじっくり自分の気持ちと向き合いながら過ごせるように、リフレッシュと休息の時間を大事にしていきましょう！（私は先日、2泊3日で沖縄に家族旅行で行ってきました！）なかなか現場で会えない人も、最近どうしてるかな？と気になっているので、顔を会わせた時は近況を教えてください！

はじめましてアクスペの川村佐恵子です。この度は皆さんとお会いできて嬉しいです！私はアクスペでは最年長の43歳です。出身は滋賀県で今は京都の南区で夫婦と猫1匹で暮らしています。趣味は楽家事生活発掘です（笑）平日はほぼ事務所で勤務をしています。現場で働く皆さんとはなかなかお会いする機会はないかもしれませんが、いつでも気軽に声をかけてもらえたら嬉しく思います。毎月のご縁の会や全体研修には参加していますので、これから皆さんと一緒にお話しをしたり学んだりできることをとても楽しみにしています☆これからどうぞよろしくお願い致します！！

okamoto

私は大学生の時に新しい仕事の経験をしたと、アルバイトでアクスペに入りました。介助の仕事を通して、今まで気付かなかった社会の一面を知ることができ、とても貴重な経験が出来たと思います。みなさんは介助の仕事始めてみて、新しい発見はありましたか？将来に生きる経験がたくさん出来ると思います。気になったことは私たちに是非聞いてください。

# Welcome



ようこそアクスペへ！新しく働き始めるみなさんへメッセージをスタッフからいただいています。